

さいたま市立大谷場中学校 各教科の内容と評価観点 [ 数 学 ]

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・途中までであっても、考え続けようとする生徒</li> <li>・課題を追求したことに成就感を味わえる生徒</li> <li>・試行錯誤しながら、数学的活動を楽しむことができる生徒</li> <li>・自らじっくり考え、学び方や数学的な技能を身につけている生徒</li> <li>・数学で学んだことを積極的に活用し、思考をより正確に、よりの確に、より能率的に行うことができ、社会や文化の発展に貢献できる生徒</li> </ul>
-------	---

3 年	項目	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学に関することばや、数や関数、図形などについての基本的な知識の習得</li> <li>・計算、関数、図形に関する基本的な問題を解く力の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな解決方法の探求</li> <li>・問題解決の過程をとらえた表現</li> <li>・応用問題の既習事項を活用し組み合わせた解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な授業への参加 (工夫した発表、内容のある発言や質問)</li> <li>・工夫したノートづくり</li> <li>・問題集や自主学習ノートへの自主的な取り組み</li> <li>・振り返りカードへの取り組み</li> </ul>	

	単元・教材・題材 等	学習目標・学習内容・学習活動 等	評価の方法
1 学 期	1章 式の展開と因数分解 <ul style="list-style-type: none"> <li>・式の展開と因数分解</li> <li>・式の計算の利用</li> </ul> 2章 平方根 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平方根</li> <li>・根号をふくむ式の計算</li> <li>・平方根の利用</li> </ul> 3章 二次方程式 <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次方程式</li> <li>・二次方程式の利用</li> </ul>	○文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりする能力を伸ばす。 ○正の数の平方根について理解し、それを用いて表現し考察することができるようにする。 ○二次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。	○授業観察 (発表、発言、質問の内容) ○ノートの作り方の工夫 ○ノート観察(授業中での解法や考え方) ○問題集、宿題への取り組み方、工夫 ○定期テスト ○小テスト ○振り返りカード

2 学 期	<p>4章 関数 <math>y = ax^2</math></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数とグラフ</li> <li>関数 <math>y = ax^2</math> の値の変化</li> <li>いろいろな事象と関数</li> </ul> <p>5章 図形と相似</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形と相似</li> <li>平行線と線分の比</li> <li>相似な図形の計量</li> <li>相似の利用</li> </ul> <p>6章 円の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角</li> <li>円の性質の利用</li> </ul> <p>7章 三平方の定理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直角三角形の3辺の関係</li> <li>三平方の定理の利用</li> </ul>	<p>○具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通し、関数 <math>y = ax^2</math> について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。</p> <p>○図形の性質を三角形の相似条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を伸ばし、相似な図形の性質を用いて考察することができるようにする。</p> <p>○観察、操作や実験などの活動を通して、円周角と中心角の関係を見だし、理解し、それを用いて考察することができるようにする。</p> <p>○観察、操作や実験などの活動を通して、三平方の定理を見だし、理解し、それを用いて考察することができるようにする。</p>	<p>○授業観察 (発表、発言、質問の内容)</p> <p>○ノートの作り方の工夫</p> <p>○ノート観察(授業中での解法や考え方)</p> <p>○問題集、宿題への取り組み方、工夫</p> <p>○定期テスト</p> <p>○小テスト</p> <p>○振り返りカード</p>
3 学 期	<p>8章 標本調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標本調査</li> </ul>	<p>○コンピュータを用いるなどして、母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取ることができ、それを理解することができるようにする。</p>	<p>○授業観察 (発表、発言、質問の内容)</p> <p>○ノートの作り方の工夫</p> <p>○ノート観察(授業中での解法や考え方)</p> <p>○問題集、宿題への取り組み方、工夫</p> <p>○定期テスト</p> <p>○小テスト</p> <p>○振り返りカード</p>